

保健福祉課

☎ 健康増進係 (134・135)

令和6年4月以降の新型コロナワクチン接種は、 有料となります

令和6年3月まで

大崎町ワクチン予約センターでの予約は、3月29日(金)で終了します。町内医療機関での接種は、3月30日(土)が最終日となります。接種を希望される方は、期間内に余裕をもって予約をお取りください。

令和6年4月以降

4月1日以降、65歳以上の方および60歳から64歳で対象となる方(※)には、新型コロナの重症化予防を目的として、秋冬に1回定期接種がおこなわれます(費用は原則有料)。定期接種の対象となる方以外で接種を希望される方には、任意接種として、自費で接種を受けていただくこととなります。

詳細は、国の方針が示され次第、お知らせいたします。

※60歳から64歳で、心臓、腎臓または呼吸器の機能に障がいがあり、身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルス(HIV)による免疫の機能に障がいがあり、日常生活がほとんど不可能な方

大崎町地域包括支援センター ☎ 471-7828

暮らしのコンシェルジュ

地域包括支援センターだより

当センターは、高齢者の暮らしについてさまざまな相談や要望に応える「よろず相談窓口」です。暮らしのコンシェルジュに寄せられるご相談と対応を紹介します。今回は「難聴」についてです。

- 相談内容…難聴で人に何度も尋ねるのが申し訳なく外に出るのが億劫になりました。数年前に補聴器を25万円で購入しましたが、年々聞こえなくなってしまいました。買いなおすのも悩んでいます。
- 対応策…まずは専門医の受診をお勧めします。聴力のレベルで補聴器の調整や変更をして、聞こえるようになる方もいますので専門医と相談の上、決めるといいでしょう。話し相手には、難聴であることを伝え、ゆっくり大きな声で話してもらおうと聞こえやすくなると思います。また、身体障害者手帳をお持ちの方は、購入する前に保健福祉課障害福祉係に相談すると聴力のレベルで一部補助が受けられます。

<難聴の種類>

感音性 難聴	難聴の人のなかで最も多いと言われているのが感音性難聴です。感音性難聴は人の声が歪んで聞こえるため、話の内容をうまく理解できません。また、片方だけに症状が出ている場合は、どこから音が聞こえているのか分からなかったり、周囲の音がうるさい場所では聞き取りづらかったりすることもあります。
伝音性 難聴	耳は外耳・中耳・内耳の3つの部分に分けられますが、そのなかでも音を伝える「伝音器」の役割を果たすのが外耳と中耳。この2つの部分に障害が起きるのが伝音性難聴です。耳を塞いだ時のような音の聞こえ方が特徴ですが、騒がしくない場所で大きな声で話しかけると聞こえます。
混合性 難聴	感音性難聴・伝音性難聴の両方の症状が見られるのが混合性難聴です。音がぼやけたり小さい音が聞こえづらかったりするのが主な症状で、軽度なものから重度なものまでさまざまです。また、感音性難聴と伝音性難聴のどちらの症状がより出やすいかによっても、聞こえ方に違いが出ます。

【お問い合わせ先】 詳細は、役場 保健福祉課 障害福祉係 ☎476-1111(内線141・142)
大崎町地域包括支援センター ☎099-471-7828